

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもハウスゆりがおか				公表日	令和8年3月1日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	活動内容によって、余裕をもって配置をおこなっている	希望休が重なってしまった時の配置	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	37.50%	62.50%	自身の持っている力を維持・向上させる訓練機能としても取ってバリアフリーにせず、支援を行っている	こどもによっては、配慮が必要な場面がある為環境に適した物品の導入を検討	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	毎日掃除を行い清潔維持を行っている	活動内容が人員の都合で同部屋で対応せざるを得ない場合がある為、他の方法を模索する	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	12.50%	クールダウンや静養、着替えの際、臨機応変に部屋を一部開放して対応をしている	利用人数によっては、確保できない時もある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	職員会議を通して業務改善できるよう個々の意見を取り入れている	提示方法やPDCAサイクルの頻度や時期を明確にしていける必要がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	職員会議の場で改善できるよう話し合いを行っている	改善できていない内容もあるので、洗い出し優先順位で取り組んでいく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%	現在第三者による外部評価についての手続きを申し込み中		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	支援計画に基づいて支援プログラムを作成している	作成を早急に取り組む	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	87.50%	12.50%	事前に会議を開催し課題を把握し支援方法の検討を行っている	客観的に分析を今後も継続できるよう行っていく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	87.50%	12.50%	必ず会議で支援の統一と共通理解の確認を行っている	最善の利益を考慮した検討が、個々によって違う為変化していく事項と共に検討していくことが必要	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87.50%	12.50%		職員間の周知を徹底する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%		確認できるツールを準備していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%		職員間の周知を会議等を通し徹底する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.50%	12.50%	必ず事前に立案を行い会議で再度検討している	「いいえ」の意見を聞き改善すべき点は前向きに検討していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	62.50%	37.50%	個々の思いやしたい事、課題となる事を中心としてプログラムを作成している	どの程度を固定化と捉えているのか、認識の確認を行っている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%	帰りの送迎車内で個々での振り返りは行っている	振り返りができる時間を設定し、打ち合わせを行えるようにする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.50%	12.50%	毎日の様子の中に特記事項があった際は記載している	記録について一部周知ができていないと思われる為、改めて方法を伝えていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	62.50%	37.50%	本部と定期的見直しを行っている	全体として
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	87.50%	12.50%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	87.50%	12.50%	絵カードや、写真を使用して選択できるツールでの選択だけでなく、現物を手に取る機会も設けている	選択しやすい物から徐々に内容を変えて、選択できる喜びや楽しさを実感して貰えるよう支援方法のバリエーションを増やしていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	62.50%	37.50%	必要に応じて連携をおこなっている	改めて連携内容の周知を行っていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%	保護者も交えてスムーズに連携できるように日々努めている	改善されない内容もあったので、連携の方法や調整を見直していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	必ず保護者の同意を得て情報共有を行っている	職員間の認識のスレもあるので、再度確認をしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	12.50%	準備はできており、依頼があれば直ぐに対応ができるようになっている	こちらから働きかけも行っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	62.50%	37.50%	療育センターや相談支援事業所、基幹相談支援からのスーパーバイズを受ける機会がある	研修は行っていない為、主催する研修に参加をしていく方向で動いていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%	職員の子どもと一緒に活動する機会を設けている	地域の子ども達と交流する機会が必要であるか保護者からの意見を基に検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	12.50%	毎回出席を行っている	職員によっては知らない可能性があるため、周知していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	37.50%	62.50%		職員が参加できる研修を探しているが家族支援の研修が少ない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12.50%	87.50%		利用者家族が参加できるイベントを開催できるよう検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	87.50%	12.50%	カードやボードだけでなく、端末等を使って伝達手段を提供している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12.50%	87.50%		見学会等を開催し、地域に根差した施設運営を行っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	87.50%	12.50%	感染症は流行前に保護者に通知文書を提示している	職員一人一人の周知確認を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	87.50%	12.50%	訓練は年に2回実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	87.50%	12.50%	看護師が常駐していない為服薬管理は出来ないが日々の服薬や予防接種、健康状態に関しては詳細に保護者と連絡をとっている	必要に応じて別で確認表等の作成を検討する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	25%	現在食物アレルギーの子どもは在籍していない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	87.50%	12.50%		改めて全職員で周知していく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87.5	12.5		改めて全職員で周知していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	87.5	12.5	ヒヤリハットファイルにヒヤリした内容を明記できるようにしてある	改めて全職員で周知していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	87.5	12.5		改めて全職員で周知していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				